

# the TREE

一本の木から世界で認められる椅子をつくるプロジェクト

2023.2.28

2

一本の木に人々が集い交流し、ともに価値をつくる。

日本の森と、若手職人を応援する「お祭り」を一緒につくりませんか？

モノづくり  
(家具・食器)



コトづくり  
(お祭り・体験)

the TREEプロジェクトは、  
選ばれた一本の木を通じて新しい交流  
と価値を生み出すことを目的とした  
森に関わる職人と都会の住民による  
価値共創プロジェクトです。



## 利用されない国産材、世界一安い原木、手入れできずに荒廃する森林

日本の林業産出額は1980年の1兆1582億円をピークに減少傾向にあり、2020年には4900億円を下回った。林業従事者は1980年の約14万人から約5万人まで減少。手入れがされず荒廃した森林が日本中で増えている。

なぜ、林業は衰退してしまったのか。戦後復興のために広葉樹が大量に伐採され、建築用木材として経済的価値が高いスギやヒノキなどの針葉樹を植林する「拡大造林政策」がとられたが、これらの木が育つ前の1964年に木材輸入が自由化され、安価な外国産材が市場を席卷してしまった。

流通量が少なくなった国産材の価格が低下。立木を伐採して販売しても伐出コスト等を差し引くとほとんど利益は残らないため、森林整備をするために必要なコストを捻出することができず、森林が荒廃する原因となっている。実際に間伐や森林整備が不十分のために起きた倒木や表土流出、土砂災害の発生や水源林の減少などが起きている。

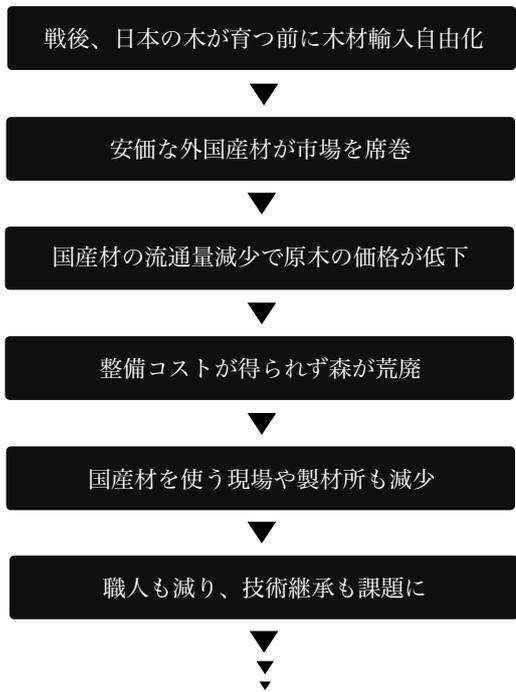
このように林業の衰退は、森林に対しても悪影響をもたらすため、その活性化は、地球環境保全、災害防止、水源涵養等の多面的機能を持つ森林を健全に維持していく上でも、避けて通れない課題となっている。

【参考】林業活性化の課題・路網整備と木の徹底的な利用の促進

[https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou\\_chousa/backnumber/2010pdf/20100115120.pdf](https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2010pdf/20100115120.pdf)

【参考】事業構想・世界一安いのに売れない国産材

<https://www.projectdesign.jp/201506/forestry/002157.php>



## プロジェクトが目指す社会的テーマ

森林資源の経済的価値をつくる

世界で認められる家具や木工品をつくる

職人の育成・技術の継承

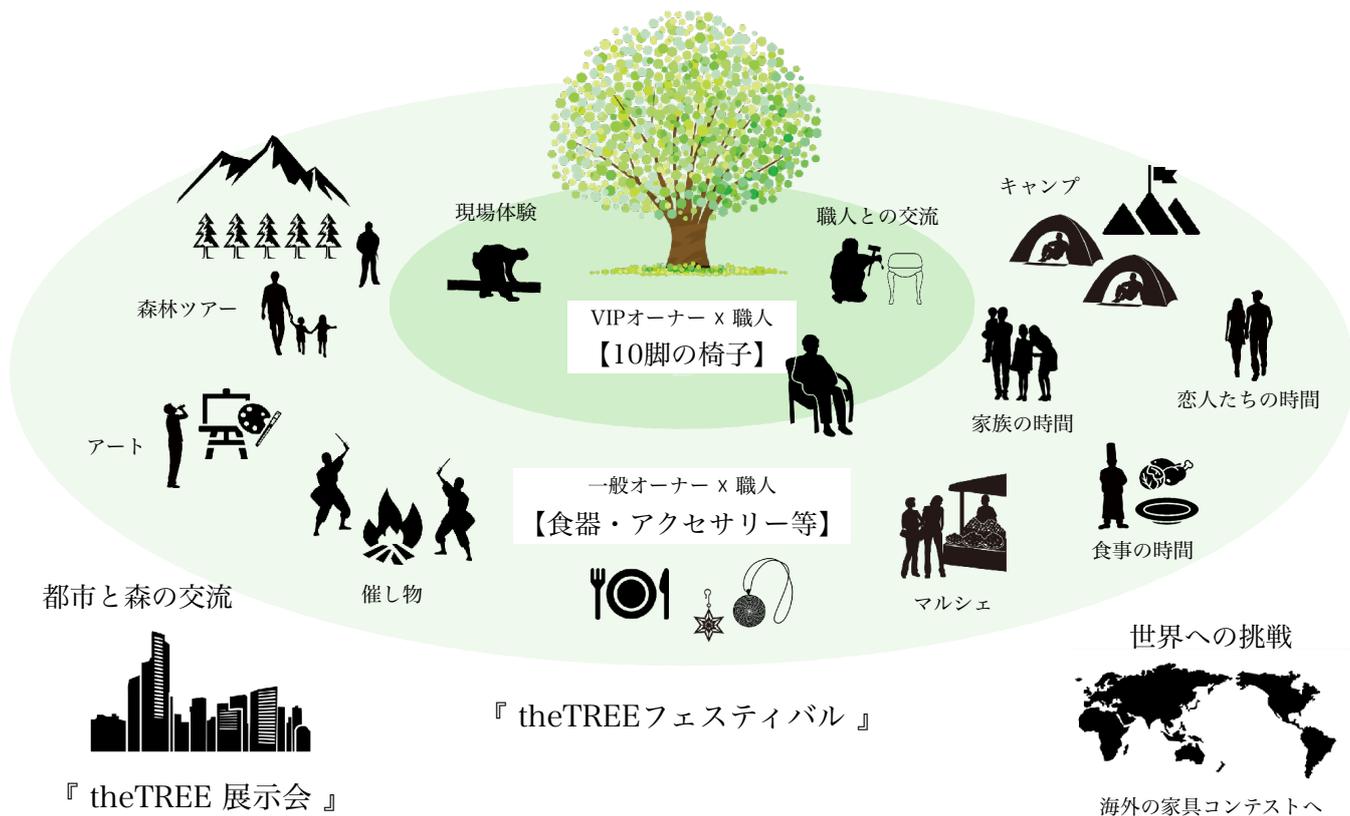
創作する機会と披露する機会をつくる

森のブランディング

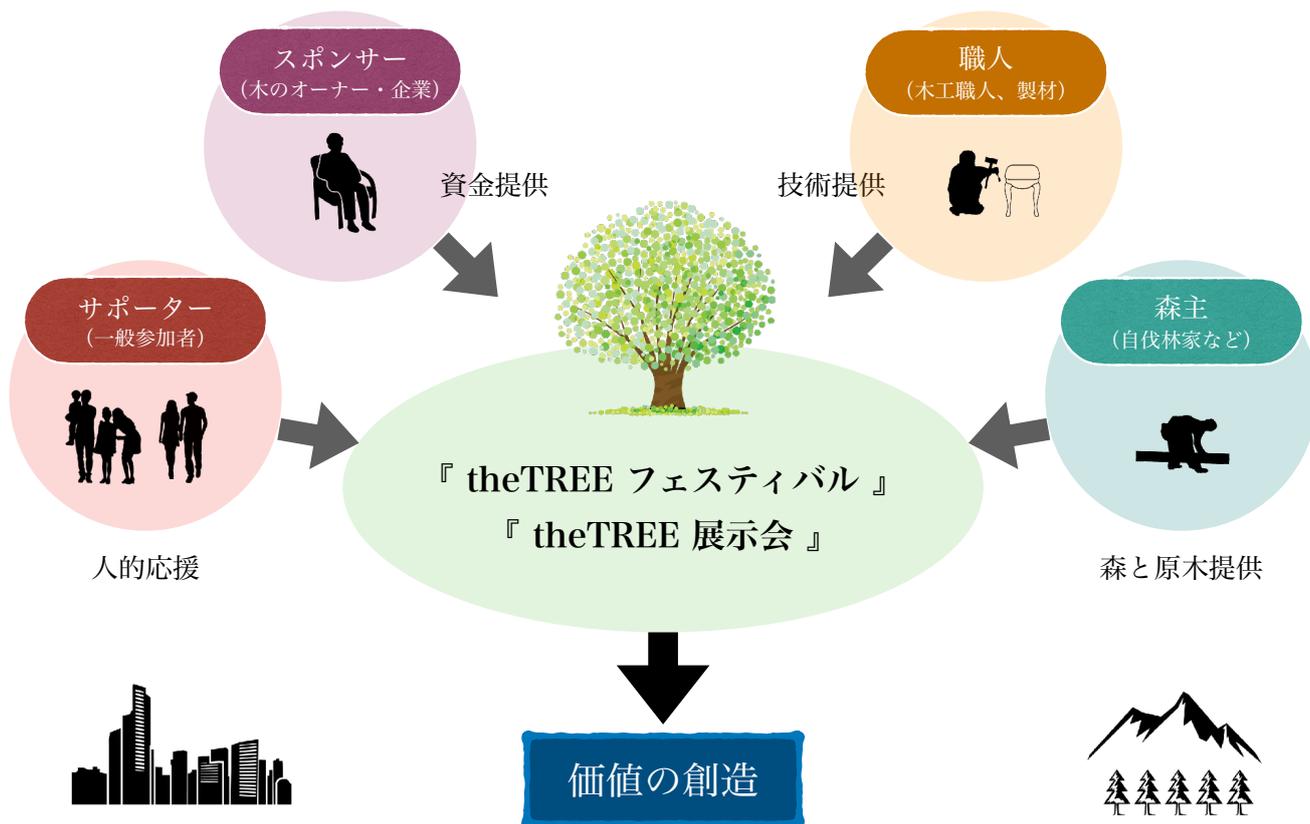
森が持つ環境的、文化的価値を発見・発信する

森の関係人口をつくる

ファンを増やし、アクションする人をつくる



都会の住民と職人による価値共創イメージ



## モノづくり「一本の木から、ともに価値をつくる」

選ばれた一本の木を材料につくります。



N36°37'24"  
E137°37'02"

すべての商品には、一本の木が存在していた場所を示す共通の「緯度経度」を刻印します。

【VIPオーナー】  
オーダーメイドの椅子



商品	椅子
制作	完全オーダーメイド
数量	10脚限定
職人	家具職人（5人程度）
価格	高額

【一般オーナー】  
小物木工品



商品	食器、アクセサリなど
制作	カタログから選ぶ（受注生産）
数量	多数
職人	木工職人（複数）
価格	手頃な価格

## コトづくり「一本の木から、ともに体験と交流をつくる」



北アルプスの森  
theTREE フェスティバル

木を伐採する当日に、木のオーナーや職人、サポーターたちが集い、森を楽しむイベントを開催します。



森林ツアー 伐採体験 マルシェ キャンプ

制作



東京など  
theTREE 展示会

完成した作品を披露する展示会を、人が集まる都会で開催します。日本の森や職人の技を知ってもらう機会をつくります。



椅子 食器 アクセサリなど

## 2023年の舞台は「信州・北アルプスの森」

国土の3分の2が森林で覆われる日本。

初回となる2023年に実施するフェスティバルの舞台は、信州北アルプス山麓。4代かけて育ててきた広葉樹の美しい森。選ばれた「一本の木」でつくる椅子や食器、アクセサリなどの木工品のオーナーを事前に募ります。

選ばれた一本の木を伐採する当日には、森とモノづくりを祝う感謝祭「theTREEフェスティバル」を開催します。



## スケジュール (暫定)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	～	9月	10月	～	3月	～	X月
準備	企画												
			プレスリリース										
実行			募集										
				① 原木決定									
				theTREEフェスティバル									
					③ デザイン検討								
						④ 製材							
							⑤ 乾燥						
								⑥ デザイン決定					
									⑦ 制作				
											⑧ 展示会		
											⑨ 利用		
												⑨ 上映会	

※現在、調整中です。

森林ディレクター・ブランディング

奥田 悠史

株式会社やまとわ 取締役

1988年三重県生まれ。大学在学中に世界一周旅行へ。

卒業後ライターを経て、2015年デザイン事務所を設立。

2016年「森をつくる暮らしをつくる」を理念に掲げる「やまとわ」の立上げに参加。

2018年、企画・デザイン・建築でまちを面白くする「〇と編集社」理事に就任。

現在は、長野県と三重県のWローカル二地域暮らしを実践しながら、農林業から家具づくり、美術館の企画展などをプロデュースしている。

編集・デザイン視点から森や自然のことを考えてます。



自伐林家

荒山雄大・あゆみ夫妻

荒山林業 代表

大町市に約270haをもつ江戸時代から続く山主兼林業家の8代目。

自分たちの持ち山を施業する自伐（じばつ）林家。

その約7割は落葉広葉樹林の占める天然林。基本的には市場に出さず、主に木工作家や大工、設計士などから注文があれば山に入って木を伐採している。多種多様な樹種を一本一本観察し択伐する「単木的管理」という手法に取り組む。一本の木を視て、その周りの他の木との関係性や、日当たり、土壌や地形の状態などを観察しながら伐るタイミングをみはからって伐採している。



木材に特化したクリエイティブ・ディレクター  
石川 玄哉

株式会社KIJIN 代表取締役  
グリーンデジタル&イノベーション株式会社 取締役

1985年11月29日 横浜生まれ。  
明治大学を卒業後、専門商社株式会社山善に入社。  
量産家具の商品企画部門に従事。働く中で耐用年数の短い  
量産家具の限界を感じ、2012年末に脱サラ。  
2013年に知識・経験・人脈ゼロの状態から、オーダーメイド家具屋をすべく独立。  
永く人と共に生きられる木材に特化したオーダーメイドの家具屋「KIJIN」を設立。



事業企画／コミュニティデザイン  
横山 貴敏

ボノ株式会社 代表取締役  
我楽田工房 創設者

1973年、東京生まれ。  
20代半ばからコミュニティづくりに特化したクリエイターとして様々な企業の事業開発に携わる。  
2008年、ボノ株式会社設立後、人と地域をつなぐ仕組みづくりにこだわり、木のキッチンが特徴の地域交流スペース「我楽田工房」、東京都認定の地域密着型シェアオフィス「我楽田長屋」、東京・山手線の上半分あたりを街をキャンパスとする市民大学「東京山の上大学」などを立ち上げるなど、百年後も愛される地域づくりに取り組んでいる。



## 運営

我楽田工房／Bono Inc.

企画・運営窓口

ボノ株式会社は、人を育て、地域とつながり、ともにワクワクする事業をつくる会社です。2008年の創業以来、地域の方々の「ほしい」と「やりたい」を起点に、これまで全国50以上の地域や企業と連携しながら、様々な地域の活性化支援に取り組んできました。東京・文京区では、全国から様々な人や材料が集まる地域交流スペース「我楽田工房」をはじめ、シェアキッチンやシェアオフィス、市民大学などを運営しています。

【会社名】ボノ株式会社

【URL】<https://bono.co.jp/>

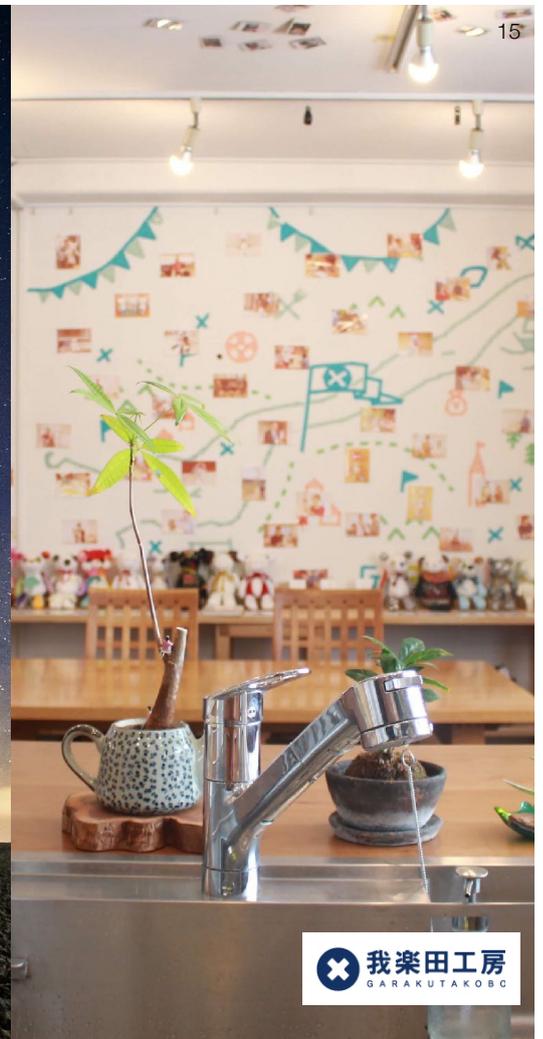
【代表者】代表取締役 横山貴敏

【所在地】東京都文京区関口1-29-6

【設立】2008年7月10日

【資本金】5,000,000円

【事業】地域の商品開発支援、人材研修、  
サステナブル・ブランディング  
シェアオフィス・シェアキッチン運営など



制作統括

株式会社やまとわ

製品開発プロデュース、空間デザイン



森の入り口から出口までをトータルデザインし、  
森と暮らしの新しい関係性をつくる会社



### 農と森事業部

「農業も林業も食べていくのが大変だ」と言われる今の時代だからこそ、冬は林業、夏は農業での生業づくりに挑戦しています。



### 木工事業部

オフィス家具や、持ち運べる家具 pioneer plantas、信州経木 Shiki など、信州伊那谷で育った木を生かした家具、木工製品を作っています。



### 暮らし事業部

地域にあった暮らしを、地域の木を使って提案。リノベーションや地域材家具。近くの森の木を使う薪ストーブやウッドボイラーのトータルプランニング。



### 森事業部

森をまちへ。まちを森へ。森と私たちの暮らしがお互いに歩み寄って森と暮らしが近い未来をつくること。森の企画やフリーペーパーの発行などを行う。

## 問い合わせ

<https://garakuta.tokyo/tree/>

運 営：我楽田工房／Bono Inc.

担 当：横山（携帯：090-9303-8275）

又は、堀田まで

電 話：03-6228-0051（代表）

E-Mail：info@garakuta.tokyo

場 所：東京都文京区関口1-29-6,1F